

## 1 開 会

出席 (学 校) 鎌田校長、西村副校長、仲俣教頭(全日)、笹原教頭(定時)、児玉事務長  
(評議員) 太田隆久、黒元浩志、春田淳一、岡田理恵、前野史賀 <敬称略>

## 2 内 容

- (1) 校長挨拶
- (2) 着任者紹介
- (3) 令和元年度北海道滝川高等学校学校経営方針について
- (4) 学校評議員会開催計画について
- (5) 学校概要説明(全日制課程、定時制課程)
- (6) 意見交換

- ・評議員：部活動に係る活動方針について。各部活動の管理方法について伺いたい。また今年から縛りが厳しくなった理由を教えてほしい。  
(回 答)：道教委の指導に基づき、各部活動から計画表を提出させています。また、今年度より、道教委が全学校に指導している方針に基づいて本校の部活動方針を決定しています。
- ・評議員：SSH2期目の予算について教えてほしい。  
(回 答)：本校を含め1校あたり年間750万円程度です。6年前、1期目は当初1千万円ほど配分されましたが、今回の文科省の採択では学校数を増やしており、1校あたりの配分は減少しています。
- ・評議員：交通安全について。滝川高校では自転車の安全も含め指導をしていると聞いているが、高齢者の交通事故が増えていることもあり、今後も安全にお互い気をつけていきたい。生徒はきちんと挨拶してくれて気持ちが良い。
- ・評議員：新学習指導要領に基づき、人間性を高めて社会に通用する人間をつくっていかうという考えで学習を進めていくということだが、具体的にどのような授業となるのか教えてほしい。また受験との関係性についても教えてほしい。  
(回 答)：生徒が課題を見つけて解決するという探究活動を取り入れていきます。今までのように一方的に先生が教えてそれを覚えるという、一斉授業とは異なります。生徒の活動をサポートするという形の授業形態が今後も導入されていくと思います。  
また、受験との関係性ですが、今後、例えば数学で複数のデータを使いながら考えて解く記述式の問題など、課題研究で培われるような力を試すような問題や、英語では従来の「書く・読む」から「聞く・話す」の力を試す方向に変えていかうという流れがあります。
- ・評議員：入学式及び卒業式の来賓の席順等について。定時制と全日制の入学式等で来賓の席順が変わってることがあり、席順により来賓の心象が悪くなるのではないかと心配になる事があった。また入学式等の式次第に関しても、全日制の入学式と定時制の入学式で統一感がとれた方が望ましいと思う。二つの課程があつて一つの学校なのだから、学校案内の作成も含め統一感をとれるように検討してほしい。
- ・評議員：学校評議員の議事録について。発言者の名前を割愛するのは疑問である。また議事録をホームページにアップするのが非常に遅い。せめて会議終了後2週間以内に載せるべきである。  
学校ホームページはたくさんの人に閲覧されている。現校長が滝川高校の卒業生であることで、例年よりさらに本校のOB・OGの閲覧が増えていると思う。ホームページは卒業生はもちろん、全道全国からたくさんの人に閲覧されていることを強く意識すべきである。元号の変更などに対し、早急に対処してほしい。2期目のSSHの看板の作成も同様である。

- ・ 評議員：創立９０周年式典について。１０月２６日に挙行されるわけだが、準備の出足が非常に遅い。周年事業は学校にとって大きな節目であり、重く考えてほしい。周年事業協賛会会長や副会長に相談して早々に準備を進めなければならない。
- ・ 評議員：学校祭のパレードについて。昨年より短い行程になった経緯を教えてほしい。  
(回 答)：パレード行程を滝川警察署に相談したところ、高齢者の事故が多発している現状もあり国道の行進が認められず、結果として行程が短くなりました。しかしながら、今は全道的に学校祭等のパレード自体を許可されない傾向であります。
- ・ 評議員：地元の短期大学には、地域の奨学金があるほか、入試における地域指定枠の制度もある。周知・活用してはどうか。また、環境教育に関する高大連携は大変良い取組なので、今後も進めてもらいたい。